

尺八所持者心得

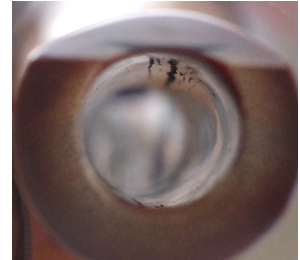
2009年11月
尺八凍童塾



1. 露切りについて

・露切りは必ず通しましょう

尺八の内壁には漆が塗られています。漆は水分と結合し、剥がれ落ちてしまいます。過度に神経質になる必要ありませんが、吹いたまま露切りを通さずに放置することは避けましょう。一度露切りを通したら、内部を覗いてみて、露の筋が残っているようなら2度、3度と通します。それでも取りきれないようならもっと大きなサイズの布を使いましょう。



露切り通しが完全でない管内。
露の筋が残っている。

・露切りの「おもり」に気を配りましょう

尺八の内壁は漆ですから、そこに金属製のおもりを通すのは感心できません。木製のおもりか、蛍光塗料で加工されている夜釣り用のおもり(1.5号)がベストです。(1.5号以上の大きさだと管内を通過できません。夜釣り用おもりは釣具店等で10個入り350円程度です) 或いは、金属製のものの周囲に布を巻きつけ、管内を傷つけない工夫をしましょう。



夜釣り用おもり

2. 保管・持ち運びについて

・尺八は必ず2つに折りたたんで保管・持ち運びをしましょう

ほぞ加工がしてある中継ぎ連結部は、管の厚みが薄くなっており、不意にぶついたりした場合ここが破損する恐れがあります。吹き終わったら露切りを通し、2つに折りたたむことを習慣化しましょう。

・中継ぎにワセリンを塗りましょう

中継ぎ部には漆が塗られています。コスレによる摩滅を防ぐため、潤滑油としてワセリンを塗りましょう。新品の尺八で中継ぎの噛み合いがきつい場合も、ワセリンを塗ることにより抜き差しが楽になります。ワセリンを塗る量は表面に膜を一枚作る程度で十分ですが、噛み合いがきつければ少し多めに塗ります。ワセリンは毎回ふき取る必要はありませんが、数回に一度は掃除します。「白色ワセリン」は薬局・薬店で一瓶300円程度で購入できます。



・中継ぎを保護しましょう

中継ぎのほぞ加工部は、折りたたんで持ち運ぶとき、尺八袋の厚さを隔てて外部に無防備にさらされている状態です。サランラップやトイレットペーパーの芯を切って加工して、上下のほぞ部分を保護するキャップを一対作り、持ち運ぶときはこれをかぶせます。



・ビニール袋に入れましょう

特に新しい尺八は、乾燥により割れる危険性を持ちます。乾燥を防ぐため、デパートなどの入口で雨の日に置いてあるビニール製のカサ袋に入れて保管しましょう。このとき、露切りを通して管内の水滴は十分に除かれていることが条件です。目安として、購入してから2回目の冬を乗り切れば、乾燥による割れの危険は下がると考えてよいでしょう。それまでは常時、カサ袋に入れるようにします。カサ袋は破れやすいので、二重にすると効果的です。デパートなどから少し多めに拝借しておいて、定期的に取り替えましょう。

・気温の変化に敏感になりましょう

尺八は乾燥のほかに、急激な気温の変化によっても割れる危険性があります。特に冬季、屋外から室内への移動、暖房等には十分すぎるくらいに配慮しましょう。冬季や早朝などは、冷えた管にいきなり息を吹き入れることはせず、少しずつ暖めて楽器を慣らしてから、演奏に移るようにしましょう。

3. お手入れについて

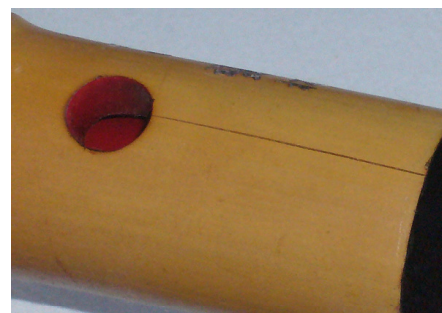
・定期的にクルミ油を塗りましょう

乾燥の予防のため、クルミ油を塗ります。クルミ(カラ付き)はスーパーや青果店などから購入します。(カラの付いていないものは、おつまみ用に調味料がまぶしてある可能性があるので避けます)カラを一つ割って中身を取り出し、ハンカチ大に切り二重にしたガーゼで包んで、約30秒程度、手でもみほぐします。(ガーゼは薬局・薬店か、100円ショップで購入できます)クルミの油が滲み出てくるので、ガーゼの上から尺八の表面に塗っていきます。表面に満遍なく塗ったら、ちり紙で拭き取ります。(必要な量は既に尺八に染み込んでいるので、全てを拭き取ってしまっても構いません)頻度の目安としては、新しい尺八であれば最低でも週に一回程度、一年以上経過した尺八であれば月に一回程度、それ以降は順次、回数を減らしてもよいでしょう。



・常に亀裂に注意を払いましょう

細心の取扱いをしていても特に新しい尺八は、割れの危険性があります。割れはまず、表面の黒い一本の亀裂から始まります。最初はわずか数ミリの亀裂が、時間の経過とともに病魔のごとく長さや深度を増長し、やがて管全体を両断するに至ります。早期発見が重要となりますので、常に管の表面の全体に目を光らせ、見慣れない亀裂がないかどうかを注意するように心掛けましょう。



亀裂が進行した第五孔下部

以 上